

第24回全国障害者スポーツ大会参加選手募集要項

10月に滋賀県で開催される「全国障害者スポーツ大会」に、県を代表して参加する選手を募集します。
この大会は、障害のある方がスポーツの楽しさを体験するとともに、広く障害に対する理解を深めることを目的とした、日本で最大の障害者スポーツの祭典です。

- 大会期間：令和7年10月25日（土）から10月27日（月）
- 派遣期間：令和7年10月23日（木）から10月28日（火）
- 会場：平和堂HATOスタジアム インフロニア草津アクアティクスセンター ほか
- 派遣経費：現地への交通費、宿泊費、昼食費及びユニホーム代は群馬県負担とする。
- 申込み：「第24回全国障害者スポーツ大会個人競技選手選考記録会参加申込書」による。
申込書は群馬県のホームページ (<http://www.pref.gunma.jp/02/d4210047.html>)、(一社)群馬県パラスポーツ協会のホームページ (<http://g-psa.jp/>) から入手可能。

※提出方法：郵送・ファクシミリ・メール送付・いずれかの方法

- 申込期限：陸上競技以外：令和7年4月10日（木）まで（郵送の場合は10日必着のこと）
陸上競技：令和7年4月25日（金）まで（郵送の場合は25日必着のこと）

- 提出先：
〒379-2214 群馬県伊勢崎市下触町238-3
一般社団法人群馬県パラスポーツ協会
電話：0270-63-2600、ファクシミリ：0270-61-8009
メール送付：gunma.id.sports@zb.wakwak.com

- 派遣予定選手数：32名

	陸上	水泳	卓球 (STT含)	アーチェリー	フライングディスク	ボウリング	ボッチャ	合計
身体障害	6名	3名	2名	1名	1名		2名	15名
知的障害	6名	1名	2名		4名	2名		15名
精神障害			2名					2名

※STT（サウンドテーブルテニス）は卓球に含まれる。

9 大会参加資格

大会に参加できる選手は、次に該当するものとする。

- 令和7年4月1日現在で、年齢13歳以上の身体障害者、知的障害者、精神障害者。
- 身体障害は肢体障害、視覚障害、聴覚障害、内部障害（ぼうこう・直腸機能障害）のいずれかの方。※内部障害者が参加できるのは、陸上とアーチェリー、フライングディスクのみ。
- 競技別に行われる「選手選考記録会」に参加できる方。選手選考記録会の開催場所と日時は募集

要項の最後を参照のこと。

○「選手選考記録会」には原則参加とするが、参加できなかった場合も令和6年度に開催された群馬県障害者スポーツ選手権大会（水泳、卓球、フライングディスク、ボウリング、ボッチャ）またはふれスポ陸上競技記録会に出場した選手については第24回全国障害者スポーツ大会の選手候補者として含める。

(4) 派遣までに計8回行われる強化練習会（6/14（土）、6/21（土）、7/5（土）、7/19（土）ボウリング以外、7/26（土）ボウリング、8/9（土）、9/13（土）、9/27（土）、10/4（土））に必ず参加できる方。

※強化練習会の日程は変更される可能性があります。

(5) 派遣全日程と前後の行事（選手結団式・解団式等）に必ず参加でき、集団行動ができる方。

※派遣期間中は、原則集団行動です。単独行動（途中参加、日帰り等）はできません。

(6) 競技参加について健康上適当と認められ、かつ所属先の長の同意が得られる方。

(7) 群馬県に住所を有する方。又は群馬県内の施設や学校等に入所及び通所、通学している方。

(8) 第24回全国障害者スポーツ大会の団体競技に、関東ブロックの代表として参加しない方。

10 競技種目

(1) 身体障害区分

次の事項及び申込書に記載のある注意事項を確認して申し込むこと。

- ① 障害区分・年齢によって参加できる競技種目が異なり、調整することがある。
- ② 1人1競技参加とする。（複数の競技への申込みはできない）
- ③ 陸上競技または水泳を希望する場合は、競技種目2種目まで参加できるが、①による調整が行われるので、申込書に**必ず第3希望まで記入すること。**
- ④ 年齢区分（令和7年4月1日現在）

1部＝13歳以上39歳以下、2部＝40歳以上

<実施競技（障害区分等で参加できないものもある。別表1を参照のこと。）>

競技	種目（陸上競技・水泳希望者は第3希望まで記入すること）	
陸上競技	フィールド	走高跳、立幅跳、走幅跳、砲丸投、ソフトボール投、ジャベリックスロー、ビーンバグ投
	トラック	50m走、100m走、200m走、800m走、1500m走、スラローム
水泳	自由形（25m、50m）、背泳ぎ（25m、50m）、平泳ぎ（25m、50m） バタフライ（25m、50m）	
卓球	一般卓球、SST（サウンドテーブルテニス）	
アーチェリー	50m・30m、30mダブルラウンド（リカーブ、コンパウンド）	
ボッチャ	立位、座位	

(2) 知的障害区分

次の事項及び申込書に記載のある注意事項を確認して申し込むこと。

- ① 1人1競技参加とする。（複数の競技への申込みはできない）

② 陸上競技または水泳を希望する場合は競技種目2種目まで参加できる。ただし、希望に添えない

場合があるので、申込書に必ず第3希望まで記入すること。

③ 陸上競技の800m走及び1500m走の参加者は、次の記録を達成した者とする。

800m走：男＝4分30秒、女＝5分30秒 1500m走：男＝8分00秒、女＝10分00秒

⑤ 年齢区分（令和6年4月1日現在）

少年＝年齢13歳以上19歳以下、青年＝年齢20歳以上35歳以下、壮年＝年齢36歳以上

<実施競技>

競技	種目（陸上競技・水泳希望者は第3希望まで記入すること）	
陸上競技	フィールド	走高跳、立幅跳、走幅跳、ソフトボール投、ジャベリックスロー
	トラック	50m走、100m走、200m走、400m走、800m走、1500m走
水泳	自由形（25m、50m）、背泳ぎ（25m、50m）、平泳ぎ（25m、50m）、バタフライ（25m、50m）	
卓球	一般卓球	
フライングディスク	アキュラシー	ディスリート5、ディスリート7
	ディスタンス	座位、立位
ボウリング	ボウリング	

(3) 精神障害区分

実施競技は卓球のみ、年齢区分はなし。申込書に記載のある注意事項を確認して申し込むこと。

11 選手決定

- 全国障害者スポーツ大会派遣選手選考会議において、参加申込者の中から記録や年齢、障害程度、競技種目、出場回数等を総合的に判断して、内定する。
- 競技力の優れた方を、一定期間連続して派遣可能とする、アスリート枠として選考することができる。
- 選考は、アスリート枠として選考する方を除き、過去の全国身体障害者スポーツ大会・ゆうあいピック大会・全国障害者スポーツ大会に出場経験のない方を優先する。
- 内定（5月中旬）後、医師による健康診断により健康上適当と認められ、かつ派遣について勤務先、学校及び施設等所属の長の同意が得られた方を選手として正式に決定する。
- 詳細は、内定通知で連絡する。

12 その他

- 選手に選ばれると、テレビ、新聞社などの報道機関の取材があり、氏名・写真・映像が紹介されたり、広報誌等へ掲載される可能性があるため、了承の上、参加すること。
- 申込書は身体障害の方用と知的障害の方用、精神障害の方用で分かれているので、間違えないようにすること。
- 参加申込書の注意事項をよく読んで申し込むこと。

◎選手選考記録会について◎

◆卓球（STT含む）、フライングディスク、ボウリング◆

〈卓球・フライングディスク〉

- ・日 程：令和7年4月19日（土）
- ・場 所：群馬県立ふれあいスポーツプラザ（伊勢崎市下触町238-3）
- ・受 付：午前9時00分（フライングディスク） 午前9時30分（卓球）
- ・記録会：午前9時30分～12時（予定）（フライングディスク）
午前10時～12時（予定）（卓球）

〈ボウリング〉

- ・日 程：令和7年4月19日（土）
- ・場 所：パークレーン高崎（高崎市歌川町8）
- ・受 付：午前9時30分
- ・記録会：午前10時～12時（予定）※4ゲーム行います。

◆水泳、アーチェリー◆

- ・日 程：令和7年4月26日（土）
- ・場 所：群馬県立ふれあいスポーツプラザ（伊勢崎市下触町238-3）
- ・受 付：午前9時30分
- ・記録会：午前10時～12時（予定）

◆ボッチャ◆

- ・日 程：令和7年4月26日（土）・27日（日）
 - ・場 所：群馬県立ふれあいスポーツプラザ（伊勢崎市下触町238-3）
 - ・受 付：午前9時30分
- ※当日の集合時間等につきましては改めてご連絡いたします。応募人数によっては1日で開催の可能性もあります。

◆陸上競技◆

- ・日 程：令和7年5月10日（土）
- ・場 所：群馬県立ふれあいスポーツプラザ（伊勢崎市下触町238-3）
- ・受 付：午前8時30分
- ・記録会：午前9時～12時（予定）

※陸上競技は選手選考記録会のため、1人2種目で開催します。

※申し込む種目は全スポ本大会で出場する予定の種目で申込をお願いします。

※受付開始時間及び記録会の時間は予定時刻です。応募者の方には、改めて記録会の通知を送ります。

〈別表1〉全国障害者スポーツ大会競技・種目

1. 陸上競技 ○男女別・年齢区分別 △男女混合・年齢区分なし ▲男女別・年齢区分なし

区分番号	障害区分	競走						跳躍			投てき					
		※2 50m	100m	200m	400m	800m	1500m	※1 4×100mリレー	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ビーイング投	
1	上肢	1 手部切断 片前腕切断または、片上肢不完全 片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎				◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		2 両前腕切断または、片前腕および 片上腕切断 両上肢不完全	◎	◎				◎		▲	◎	◎				
		3 両上腕切断または、両上肢完全	◎	◎						▲	◎	◎				
	下肢	4 片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
		5 片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
		6 両下腿切断	◎	◎							◎		◎	◎	◎	
		7 片下腿および片大腿切断 両下肢不完全	◎								◎		◎	◎	◎	
		8 両大腿切断または、両下肢完全											◎	◎	◎	
	体幹	9 体幹 ※3	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
	2	車 脳 原 性 常 麻 痺 、 以 外 用 で	10 第6頸髄まで残存	◎	◎				◎							◎
			11 第7頸髄まで残存		◎	◎			◎							◎
			12 第8頸髄まで残存		◎	◎			◎					◎	◎	◎
			13 下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎			◎					◎	◎	◎
			14 下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎			◎					◎	◎	◎
	15 その他の車いす		◎	◎			◎					◎	◎	◎		
3	(脳性 麻痺、 脳外傷等)	16 四肢麻痺で車いす使用	◎					◎							◎	
		17 けって移動	◎					◎							◎	
		18 片上下肢または片上肢で車いす使用	◎					◎					◎	◎		
		19 上肢で車いす使用	◎	◎	◎			◎					◎	◎	◎	
		20 その他走不能											◎	◎	◎	
		21 上肢に不随意運動を伴う走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎	
		22 その他走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎	
4	23 電動車いす常用						◎							◎		
視覚障害 ※5	24 視力0から0.01まで ※6	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎		
	25 その他の視覚障害	◎	◎	◎			◎		▲	◎	◎	◎	◎	◎		
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そ しゃく機能障害	26 聴覚障害	◎	◎	◎			◎		▲	◎	◎	◎	◎	◎		
知的障害	27 知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	▲	◎	◎		◎	◎		
内部障害	28 ぼうこう又は直腸機能障害	◎					◎			◎	◎		◎	◎		

※1 4×100mリレーは男女混合とする。

※2 50m競走で使用する車いすは日常生活用とする。

※3 体幹とは頸部・胸部・腹部及び腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊椎カリエス等による体幹の障害が該当する。)ただし、四肢の機能障害を伴う場合は体幹の機能障害があってもこの区分には該当しない。

※4 複数の障害区分にわたり1つの◎がついている場合は、一つの区分として競技をおこない、順位を決定する。

※5 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※6 障害区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

【注】競走競技は50mと100m、跳躍競技は立幅跳と走幅跳、投てき競技は障害区分8を除き、ソフトボール投とジャベリックスローの両方に申し込むことはできない。

2. 水泳

◎男女別・年齢区分別 ○男女別・1部 ●男女別・2部 △男女混合・年齢区分なし

		区分番号	障害区分	自由形	背泳ぎ	平泳ぎ	バタフライ	※1 4×50mメドレーリレー	※1 4×50mリレー		
肢体不自由	1	上肢	1 手部切断	◎	◎	●	○	●	○		
			2 片前腕切断または、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○		
			3 片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○		
			4 両前腕切断または、両上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○		
		5 両上腕切断または、両上肢完全 片前腕および片上腕切断	◎	◎	●	○	●	○			
		下肢	6 片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○		
	7 片大腿切断または、片下肢完全		◎	◎	●	○	●	○			
	8 両下腿切断または、両下肢不完全		◎	◎	●	○	●	○			
	上下肢	9 両大腿切断または、両下肢完全 片下腿および片大腿切断	◎	◎	●	○	●	○	◎		
		10 片上肢切断および片下肢切断 片上肢不完全および片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎		
	体幹	11 多肢切断または、片上肢完全および片下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎		
		12 体幹	◎	◎	●	○	●	○			
2	以脳す外原 常で性 用車 麻痺	13 第7頸髄まで残存	◎	◎	◎		◎				
		14 第8頸髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○			
		15 下肢麻痺で座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○			
		16 下肢麻痺で座位バランスあり	◎	◎	●	○	●	○			
3	脳 原 性 麻 痺	17 四肢麻痺(車いす使用) 上肢に著しい不随意運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎				
		18 両下肢麻痺 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○			
		19 片側障害で片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎		
		20 その他の片側障害で走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		21 その他	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
視覚障害 ※2	4	22 浮具使用	◎	◎	◎		◎				
		23 視力0から0.01まで ※3	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		24 その他の視覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そ しゃく機能障害		25 聴覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
知的障害		26 知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△

※1 リレー、メドレーリレーは男女混合とする。
 ※2 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。
 ※3 障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

3. アーチェリー ●男女別

	区分番号	障害区分	リカーブ		コンパウンド		
			50m・30m	30m・30m	50m・30m	30m・30m	
肢体不自由	1	脳原性麻痺以外で車いす常用	●	●	●	●	
		2	その他の車いす	●	●		
	2	3	上肢障害	●	●		
		4	下肢障害 (いす、車いす使用を含む)	●	●		
		5	体幹	●	●	●	●
	6	脳原性麻痺	●	●			
7	聴覚障害	●	●				
8	ぼうこう又は直腸機能障害	●	●				

※「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

4. 卓球 ◎男女別、年齢区別 ●男女別

		区分番号	障害区分	卓球	STT	
肢体不自由	1	上肢障害	1	片上肢障害	◎	
			2	両上肢障害	◎	
		下肢障害	3	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	
			4	片大腿切断または、両下腿切断 片下肢完全または、両下肢不完全	◎	
			5	片下腿および片大腿切断 両大腿切断または、両下肢完全	◎	
		6	体幹	◎		
	2	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	7	第8頸髄まで残存 ※1	◎	
			8	座位バランスなし	◎	
			9	その他の車いす	◎	
	3	脳原性麻痺	10	車いす使用	◎	
			11	杖または、松葉杖使用	◎	
			12	上肢に不随意運動あり	◎	
			13	上肢に不随意運動なし	◎	
			14	片側障害	◎	
視覚障害 ※2		15	アイマスクまたは、アイシェードあり ※3		◎	
		16	アイマスクまたは、アイシェードなし	◎		
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害		17	聴覚障害	◎		
知的障害		18	知的障害	◎		
精神障害		19	精神障害	●		

※1 「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

※2 視力・視野の程度に関わらず、アイマスク・アイシェードの有無で出場競技を分ける。

※3 障害区分15は、各自で光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

5. フライングディスク

◇区分なし ●男女別

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座位	立位
肢体不自由				
視覚障害				
聴覚障害	◇	◇	●	●
知的障害				
内部障害(ぼうこう又は直腸機能障害)				

6. ボウリング

知的障害者で男女別、年齢区分別に実施する。

7. ボッチャ ◎男女区分・年齢区分なし

	区分番号	障害区分	競技スタイル		
			立位	座位	
肢体不自由	1	切断・機能障害	◎		
	2	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	2	第6頸髄まで残存	◎
			3	第7頸髄まで残存	◎
			4	第8頸髄まで残存	◎
			5	多肢切断	◎
	3	脳原性麻痺(脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	6	四肢麻痺で車いす常用、または使用	◎
			7	けって移動	◎
			8	片上下肢で車いす常用または、使用	◎
			9	その他走不能	◎
	4	10	電動車いす常用		◎

※ 座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。

※ 座位で競技する選手(区分2～8及び10)の選手で移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者にスポーツアシスタントを、ランプ使用者にはランプオペレーターをそれぞれ選手1名につき1名を認める。

※ 立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

脳原性麻痺で、四肢に可動域制限や協調運動障害がある者で上肢による車いす使用者はすべて四肢麻痺(区分6)として区分判定する。

区分10は、四肢もしくは三肢体幹機能障害により電動車いすを常用している者を対象とする。